

【日本の食生活と肥満研究部会】

1, 2 月	1 月 15 日に全体会を開催し、2 月 17 日のシンポジウムの配布冊子内容、役割分担を確認。2 月 17 日に第 4 回ライフサイエンス・シンポジウムとして、成果発表会を開催。3 名の先生方からの情報提供及び 4 名のメンバーからの成果発表を行った。
3, 4 月	4 月 2 日(木)に第 15 回研究部会を開催。ライフサイエンス・シンポジウム後の報告書作成について論議。分科会によって、報告者作成についての認識(捉え方)の違いもあったが、最終的には、部会としてまとめた報告書作成の方向で進めることとした。次回会合(6 月 25 日)までに素案を作成。
5, 6 月	6 月 25 日(木)に第 16 回研究部会を開催。活動報告の論文化は分科会毎に雑誌を選択し、7 月末を目処に投稿することとした。その論文化の進捗状況を判断した上で、次回会合の日程を決定することとした。
7, 8 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
9, 10 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
11, 12 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。

* 発酵製品の多様性分科会

1, 2 月	シンポジウムでは、「発酵食品・調味料に存在する成分が肥満の予防に与える影響」について紹介。岡田先生からは、発酵食品の多様性が味覚や風味に与える影響やヒトの健康に果たす機能について紹介いただいた。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	日本調理科学会誌「講座」への依頼原稿として、投稿。2010 年 4 月 20 日発行号に掲載される予定。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	継続中。
11, 12 月	継続中。

* 脂質の種類分科会

1, 2 月	シンポジウムでは、「肥満が複合的要因の結果であり、脂質が直接肥満につながるような報告は見られなかったことおよび肥満の第一要因は運動不足であると思われること。脂質は、健康維持には重要な栄養素の一つであり、欠乏は重大な弊害を及ぼすことも含め、正しい情報を国民に提供しなければならない」などを紹介した。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	日本栄養・食糧学会誌を第一候補として、論文投稿を進めていく。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	投稿原稿を提出、継続中。
11, 12 月	とりまとめ内容の投稿先を変更すべく検討中。

* 食事の量分科会

1, 2 月	シンポジウムでは、過体重者の割合と炭酸飲料の摂取量が正の相関を示し、文献から肥満と加糖飲料の関連が示唆されることを紹介。また、インターマップ研究から、肥満に關与する食事のパターンとして、夕食での脂肪エネルギー、動物性タンパク質エネルギー比率の高い食事が關与する可能性について紹介した。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	発酵製品分科会と同様の形での掲載（日本調理学学会誌）で話を進めることとした。INTERMAP 研究の方は、論文化を継続。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	継続中。
11, 12 月	継続中。